

2022年8月25日

中央日本土地建物グループ株式会社

取扱説明書をスマートフォンなどで閲覧できる 「トリセツ+HOME」を分譲マンション「BAUS（バウス）」に導入 ～ご入居者の利便性向上につなげます～

中央日本土地建物グループ株式会社は、子会社の中央日本土地建物（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 三宅潔）が、分譲マンション「BAUS（バウス）」において、東京ガス株式会社（港区海岸一丁目 代表執行役社長 内田高史）が提供する「トリセツ+HOME（トリセツホーム）」*を導入しますのでお知らせします。

感動が育つ住まい。

BAUS

トリセツ+HOME

本サービスの導入により、新築分譲マンションの引き渡し時に、ご入居者様へお渡しする住宅設備の取扱説明書一式を、ご入居者様がスマートフォンやパソコン・タブレットで閲覧することができるほか、ご入居者様自身が購入した家電製品を追加登録することで、居室内の各種設備類の取扱説明書を一元管理できます。また、中央日本土地建物は「管理者アカウント」によってご入居者様と同じ住宅設備の情報を閲覧できるため、お問い合わせへのスムーズな対応が可能となります。

中央日本土地建物は、2022年7月に引き渡しを開始した「バウス湘南台」（小田急江ノ島線ほか「湘南台」駅 徒歩4分）を皮切りに、今後開発する「BAUS」シリーズの分譲マンションに順次本サービスを導入していく予定です。

当社グループは、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、高品質かつ先進的な商品・サービスの提供と、ペーパーレス化などによる環境負荷の低減を図り、BAUS が掲げるブランドスローガン「感動が育つ住まい。」のさらなる発展に向けて、引き続き取り組んでいきます。

*「トリセツ+HOME」は、(株)トライグルの提供するサービス「トリセツ」上で、東京ガス株式会社が提供するサービスです。

◆ 「トリセツ+HOME」の導入による効果

<ご入居者様の利便性向上>

1. 取扱説明書の保管スペースと探す時間の削減

取扱説明書をデータ管理することで、収納場所の確保が不要になり、居室内のスペースを有効活用できます。また、アプリやウェブサイト上で設備類の型番を確認することができるため、例えば交換用の部品を購入する際には、外出先でも検索・閲覧することも可能です。

2. 標準設備以外の家電の取扱説明書も登録可能

据え付けの住宅設備だけでなく、ご入居者様自身で購入した家電の追加登録*が可能です。購入するたびに増える家電の取扱説明書を、お持ちの端末で一元管理することができるのと同時に、紛失するリスクがありません。

*家電の追加登録はトリセツの既存機能であり、一部取扱いのない家電製品もございます。



「トリセツ+HOME」アプリ画面
(イメージ)

<事業者の業務効率化および省力化、環境配慮>

1. ご入居者様からのお問い合わせへのスムーズな対応

これまでお問い合わせを受けた際は、まずご入居者様と同じく紙の取扱説明書から情報を探していましたが、ご入居者様と同じ住宅設備の情報を閲覧できる「管理者アカウント」機能を活用することで、お問い合わせを受けた際の速やかな対応が可能となります。これにより、お客様満足度の向上と管理業務の効率化を実現します。

2. 業務負担軽減と、環境への配慮

取扱説明書の印刷、ファイリング、差し替えなど、紙の取扱説明書であることに伴う一連の作業が不要となり、マンション事業主や施工会社・住宅設備会社の業務負担軽減や、従業員の働く環境の多様化（リモートワークなど）にも対応できます。また、印刷用紙や、取扱説明書を収納するファイルなどの備品削減による環境負荷の軽減にもつながります。

中央日本土地建物グループ株式会社 経営企画部広報室 (向田・平山)

Tel.03-3501-6906 Fax.03-3506-8940